

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

• PI (パブリック・インボルブメント) 手法の導入による公共施設の地域別再編計画の策定

2 取組期間

• 平成 27 年 8 月~ (継続中)

3 取組概要

- ・新潟市では、平成27年に策定した財産経営推進計画(公共施設等総合管理計画に相当する)に基づき、公共施設の個別計画として、中学校区を基本に市内55地域で「地域別実行計画」を策定することとしている。
- ・計画の策定に際しては、PI(パブリック・インボルブメント)手法を積極的に取り入れながら、住民との協働により順次策定を進めている。

4 背景・目的

- ・新潟市は、15 市町村による合併がなされたが、旧自治体ごとにフルセットで公共施設を保有していたことから、行政財産から公営住宅を除いた市民一人あたりの建物保有量は、政令市の中で最大(平成28年度末現在2.91 ㎡/人(政令市平均2.22 ㎡/人))となっている。
- ・財産経営推進計画においても公共施設の総量削減とサービス機能の維持を基本方針に定めて おり、地域の実情に応じ将来的なニーズに合った効率的な財産経営を進めていく。

5 取組の具体的内容

地域別実行計画の概要

- ・地域全体の公共施設の将来のあり方を検討し、施設 総量が削減されてもサービス機能をできるだけ維 持するための地域別の公共施設の再編計画。
- ・学校の統合など、公共施設に動きのある地域から順次着手し、中学校区を基本として、最終的に市内55地域で策定。
- ・地域に密着した施設を検討対象とし、施設ごとに整備方針・スケジュール・附帯条件などを明瞭に表示。



策定手法:市民との協働により計画を策定

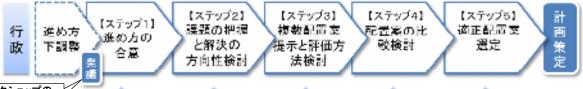
・計画の検討段階からワークショップ等により市民に参画いただき、意見を計画に反映

〔行政が達成したいこと〕 ・総量削減とサービス機能の維持

- ・施設維持運営に係るコストの 削減
- 〔地域住民が達成したいこと〕より住みやすい地域とする(活性化、子育てしやすい、利便性向上、防災・・・)

両者が win+win となれる道を探す

- 各ステップ毎に地域の意見に基づき検討を進め、検討結果は広報紙等で周知を図る。
- ・住民と協働で計画を策定することで、実現性の高い地域別実行計画を策定できる。



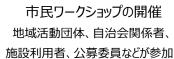
市民ワークショップの 開催等地域住民の参画

住民ニーズを市の検討内容に反映

コミュニケーション地域の意見を伺う場









オープンハウスの開催 (パネル展示型説明会)

6 特徴(独自性・新規性・工夫した点)

・「総論賛成・各論反対」となり膠着状態となるケースが多いテーマであるが、新潟市では PI 手法を取り入れ、地域住民との協働により実行計画を策定することで、住民との対峙の構図を 回避することが可能となり、実現性の高い計画を策定することができた。

7 取組の効果・費用

地域別実行計画 策定地域	コスト削減効果 (50 年間累計)	地域の魅力度向上
潟東地域	コスト 22 億円減	地域のシンボルとなるイベントや祭りの開催が容
(H28 年度策定)		易に
葛塚地域	コスト 12 億円減	区役所新庁舎を核とした公共施設のプラットホー
(H29 年度策定)		ム化で地域の活性化を期待
曽野木地域	コスト 10 億円減	コミュニティ機能を持った統合保育園の整備によ
(H29 年度策定)	 (統合保育園民設民営の場合)	り、多世代交流が可能に
• 財産経営推進事業	美 決算額 H28 17,82 予算額 H30 16,00	

8 取組を進めていく中での課題・問題点(苦労した点)

• ワークショップ開催当初、住民からの要望が多く議論が進まずに苦労をしたが、公共施設マネジメントの必要性を訴えながら丁寧に対応したことで、回を重ねるごとに住民からの理解が得られるようになった。

《ワークショップ参加者のふりかえり・最初の頃》

- o 市としての着地点は決まっており、住民意見を聞いたというアリバイ作りのための場では。
- o 農村部のコストが高いのなら、中心部で儲けてその分を充ててくれればよいのでは。
- o たとえ維持・管理で税金が上がるとしても、見直しはせずに現状のまま維持すれば良いのでは。

《ワークショップ参加者のふりかえり・終盤の頃》

- o 民間活用せざるをえない状況だと思うので、市の直営による施設運営は現実的ではないと思う。
- o 参加者同士で忌憚なく意見を出し合うことができ、事務局も真摯に聞いてくれたことで、回を重ねる ことに内容が具体化してきたと思う。
- o 大変だと思うが、こういう機会をつくってもらいたいと思う。

9 今後の予定・構想

- 市内の他の地域でも同様の手法で地域別実行計画策定を進めていく予定。
- 3 地域で得られたノウハウを市の組織全体で共有しながら、継続的に活用していく予定。

10 他団体へのアドバイス

- 多くの市町村の担当者が、具体的な実行計画の策定段階でご苦労されているかと思います。
- 進め方の事例の一つとして参考にしていただければと思います。

11 取組について記載したホー	- ムペ・	― ジ
-----------------	-------	-----

• http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeisuishin/index.html